

超短期海外派遣プログラム（フィリピン）募集要項

募集概要：

本プログラムはグローバル理工人育成コースの一環として実施されます。

デラサール大学での英語クラス受講のほか、企業見学、国際機関訪問、学生交流などを予定しています。東南アジア独特の活気あふれる雰囲気の中で、経済発展の勢いを体感でき、国際協力の現場も間近で見学することができます。本プログラムの参加者を下記の通り募集致します。

【派遣先】 フィリピン（マニラ）

【渡航期間】 2020年2月27日（木）～3月7日（土）（9泊10日）
全日本空輸（ANA）直行便を利用予定です。

【費用】 約130,000円（予定）（航空券代、燃料サーチャージ、空港税、現地宿泊費）
*現地での諸経費（食費、交通費等）、ビザ代、海外旅行保険料は上記の費用には含まれません。
*大学の指定する海外旅行保険に加入する必要があります。
*航空券と現地長距離移動、現地宿泊に関する手配については、本学が一括で手配します。

【応募資格】

1. 東工大正規課程学生（学士課程および修士課程の学生）。
2. 現地で英語授業を聴講する程度の語学力を有していることが望ましい。
3. グローバル理工人育成コースに所属し以下の通りコース修了に向けた活動を行っている者を優先する。
 - ① グローバル理工人育成コースの科目履修単位取得数が修了要件に近い。
 - ② ポートフォリオに必要事項（グローバル理工人育成コースの志望動機、所属時ルーブリックの入力（2年次以下は必須））を記入している。*グローバル理工人育成コースの所属・修了等の詳細は、以下のURLにて要確認。
<http://www.ghrd.titech.ac.jp/>
（応募者多数の場合は、超短期派遣に初めて参加する者を優先します。）

【応募方法】 添付の申請書を留学情報館宛てに提出。

【募集人数】 10名（最少催行人数6名に達しない場合、プログラムを中止する場合がある。
また10人に達しない場合、費用が高くなる可能性がある。）

【選考方法】 書類審査及び面接（面接は書類審査通過者のみに実施します。）

【応募締切】 2019年12月13日（金）

- *応募に際しては、申請書類に指導教員、またはアカデミックアドバイザーの承認を必ず得ること。
- *留学生の参加については、渡航先のビザ取得期間等を確認の上、応募の可否を自身で判断すること。

【面接予定日】 応募時個別調整します。

【事前・事後学習】

本プログラム参加者は、単位付与の一環として、下記の事前・事後学習への参加が義務付けられる。

2019年12月：書類説明オリエンテーション、危機管理オリエンテーション（個別実施、日程別途）

2019年12月18日：事前学習1回（時間別途）

2020年3月：事前学習2～5回（日程は別途通知）

2020年1月15日（水）16:50～18:30 グローバル理工人育成コースシンポジウム @70周年記念講堂

2020年4～5月：成果発表会

【奨学金支援】

本プログラムは、独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）の奨学金（日本人学生）、東京工業大学基金（留学生）対象である。以下の基準を満たした学生には7万円が支給される場合がある。（別途書類の提出が必要。必要書類については、書類説明オリエンテーションにて説明する。）なお、学内規定により国費留学生には奨学金の支給はない。

奨学金支給基準：

1. 日本国籍を有する者または日本への永住権のある者、または国費以外の留学生
2. 前年度の成績評価係数が2.30以上（JASSO規定の計算式に基づく）であること。

下記の表により「成績評価ポイント」に換算し、計算式に当てはめて算出（小数点第3位を四捨五入）

成績評価	100～80点	79～70点	69～60点	59点以下
成績評価ポイント	3	2	1	0

（計算式）

（「評価ポイント3の単位数」×3）＋（「評価ポイント2の単位数」×2）＋（「評価ポイント1の単位数」×1）＋（「評価ポイント0の単位数」×0）／ 総登録単位数

3. 前年度の成績評価係数が2.0以上～2.3未満の場合、自己推薦書を提出することで、支給額は減額されるものの、支給が認められる場合がある。
4. 経済的理由により、自費のみでの派遣プログラムへの参加が困難な者（原則として家計基準に合致する者）⇒申立書を根拠とする。
5. 派遣プログラム参加にあたり、他団体から奨学金を受ける場合、他団体等からの奨学金の支給月額が本制度による支給金額を超えない者

（注）

1. 学士課程1年生および2年生の参加については、「グローバル理工人研修入門1」の単位が付与される（1単位）。
2. 学士課程3年生及び4年生、また修士課程の学生の参加については、「グローバル理工人研修1」の単位が付与される。今学期で卒業予定の参加者については、以下の条件を満たす必要がある。
 - ① 当該海外派遣プログラムによる得られる単位の有無にかかわらず、卒業できる見込みがある。
 - ② 卒業あるいは大学院進学認定に必要な手続きに支障を及ぼさない。
3. 上記にかかわらず、「グローバル理工人研修」等ではなく、所属学科の科目による単位付与が行われる場合がある。
4. 本プログラム参加にあたっては上記1～3に記載されているいずれかの科目を必ず履修すること。（本年度の取得単位数の上限を既に超えている学生は、別途問い合わせのこと。）
5. 帰国後、本学において単位付与出来ない場合には、奨学金を返納することになる。事前事後学習を含めたプログラム全体に主体的に参加すること。
6. 安全上の理由によりプログラムが渡航延期、中止される場合があり、その際キャンセル料については原則自己負担となる。
7. 宿泊は原則としてツインルームとなる。

【問合せ・申請書提出先】

留学情報館（大岡山南6号館4階405号室） メールボックス：S6-9

電話：03-5734-3520 / e-mail: ghrd.sien@jim.titech.ac.jp

2020年 超短期海外派遣プログラム(フィリピン)日程案

注：訪問内容は現地の都合により一部変更になることがあります。

	日付	曜日	行動予定	訪問内容	宿泊
	2020年 2月27日	(木)	羽田発—マニラ着	羽田空港集合 両替, ホテル到着, 買い物	マニラ
Day 1	2月28日	(金)	デラサール大学マニラキャンパス訪問	英語クラス受講登録, キャンパスツアー, 交流会(仮)	マニラ
Day 2	2月29日	(土)	タガイタイ訪問	風光明媚な大自然	マニラ
Day 3	3月1日	(日)	イントラムロス訪問	スペイン統治時代の面影を残す旧市街	マニラ
Day 4	3月2日	(月)	デラサール大学にて英語クラス受講 他大学又は国際機関訪問	午前：英語クラス 午後：未定	マニラ
Day 5	3月3日	(火)	デラサール大学にて英語クラス受講 他大学又は国際機関訪問	午前：英語クラス 午後：未定	マニラ
Day 6	3月4日	(水)	企業訪問	Chiyoda Philippines (千代田化工建設) 訪問	マニラ
Day 7	3月5日	(木)	他大学又は国際機関訪問	未定	マニラ
Day 8	3月6日	(金)	デラサール大学にて英語クラス受講	午前・午後：英語クラス	マニラ
	3月7日	(土)	マニラ発—羽田着	反省会 羽田空港解散	